スクールカウンセラーだより

# ゆっくりのんびり

第７号　２０２１年　１１月　　発行者：乾　哲郎

テツ：お父さんやお母さんに、「～しちゃいけません」って言われた経験ってあるよね。

ユイ：うん、いっぱいある。っていうか、毎日何か言われてる。

テツ：そういう時、「やったらすごい罰を与える」って言われるのと、それほどでもないのとでは、どっちが効果があると思う？

ユイ：罰のすごさにもよると思うけど、ホントにすごいならやっぱり言うこと聞くんじゃないかな。

レイ：でも、好きなゲームとか「絶対やっちゃダメ！」とか言われたら、「え～、何で～？！」ってかえってもっとやりたくなって、見つからないようにこっそりやっちゃうかもしれない。

テツ：では、今日の実験です。４歳の子どもに対して行った実験なんだけどね、子どもを５種類のオモチャが置いてある部屋に連れて行きます。そして、しばらくそれで遊ばせてから、どのオモチャが好きか、１番から５番まで好きな順番をつけてもらいます。次に、「自分は用事があってしばらく部屋からいなくなるけど、このオモチャでは遊んじゃいけません」と、子どもが２番目に好きと言ったオモチャを指さします。そして、次のどちらかの言葉を続けます。

Ａ　「もし、これで遊んだら怒るからね。罰も与えるよ。」

Ｂ　「もし、これで遊んだら、ちょっと怒るかもしれないよ。」

そして、部屋を出て、となりの部屋からマジックミラーで子どもの様子を観察したんだ。Ａの条件とＢの条件とそれぞれ２２人ずつだったんだけど、どの子も言いつけを守って、ダメと言われたオモチャでは遊ばなかったんだ。

レイ：え？厳しくってもそれほど厳しくなくっても変わらなかった、って結果なの？

ユイ：それって、その人がこわい顔の人だったんじゃないの？

テツ：いや、この実験はそこを見るんじゃなくて、この後が大事なんだ。１０分後に部屋に戻って、もう一度、５つのオモチャを好きな順に並べてもらったんだ。

ユイ：好きな順番が変わったんだ。

レイ：Ａの条件の子とＢの条件の子で変わり方が違ったってことね！

テツ：そのとおり。禁止されてたオモチャの好きな順位が、Ａの条件の子は、２２人中１４人が１番になって、８人は２番のままだったんだ。それに対してＢの条件の子は、１番になった子が４人、２番のままの子が１０人、３番より後になった子が８人だったんだ。

ユイ：厳しく禁止された子は、もっとそれで遊びたくなっちゃったんだ。

レイ：それほど厳しく言われなかった子は、どちらかというと結構どうでもよくなっちゃったのね。どうしてなんだろう。

テツ：こんなふうに考えられてるんだ。人間は心の中に矛盾する２つのものがあると、そのままにしておけなくて、２つの内、変えやすい方を変えようとする。（認知的不協和理論といいます）

ユイ：よくわかんない。今の話とどういう関係があるの？

テツ：今の話だと、子どもにとって、「このオモチャで遊びたかった」という思いと「このオモチャで遊ばなかった自分」という２つのことが矛盾することなんだ。で、Ａの条件だと、「遊ぶとひどく怒られるから遊ばなかった」ということで自分を納得させられるからいいんだけど、Ｂだとそういうふうに自分を納得させにくい。だから、矛盾を解決するために、「このオモチャで遊びたかった」という思いを変化させちゃって、「それほどこのオモチャが好きなわけじゃない」と思うようになっちゃう、と説明されてるんだ。

ユイ：ふ～ん、厳しくすればするほど、言うことを聞かせられるとは限らないんだね。

山崎君、若林君、升野君の３人の男性と、優子さん、敦子さん、友美さんの３人の女性がいます。この６人は、３組の夫婦で、３組合わせて、男５人、女１人の６人の子どもがいます。次の３つのことがわかっています。

① 敦子さんの子どもの数は、升野君の子どもの数より少ない

② 若林君の子どもの数は、山崎君、升野君の子どもの数の合計と同じ

③ 敦子さんと友美さんの息子の数は同じ

さて、誰と誰が夫婦で、それぞれの子どもの数は何人でしょう。

みなさんは、おこづかいはどれぐらいもらってますか？「１か月に〇円」というふうに決めてもらっている人が多いのかな？
さて、お母さんがおこづかいの額について、「次のＡ，Ｂの好きな方にしてあげる」と提案しました。
あなたは、どちらを選びますか？

Ａ．１年で２万円、１年たつごとに１万円ずつ値上げ
Ｂ．半年で１万円、半年たつごとに 2500 円ずつ値上げ

あるサラリーマンは、毎日、駅まで奥さんに車で迎えに来てもらっています。ある日、彼はいつもより１時間早く駅に着きました。彼は、家に向かって歩き始めました。いつも通りの時間に家を出た奥さんは、途中で彼と出会い、そこから車で一緒に家に帰りました。その日は、いつもより 20 分早く家につきました。彼は何分歩いたのでしょう。車の速さ、歩く速さは、それぞれいつも同じだとします。（グラフを描いてみるとわかりやすいかも）

```
           ○4○○
     ─────────────
○4○) ○○○○4○4
     ○4○
     ────
     ○○44
     ○○○4
     ──────
       ○○○○
        ○4○
       ──────
        ○○○4
        ○○○4
        ─────
           0
```

## ＜前号の答え＞

＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊

| Ａ | Ｂ | Ｃ |
|---|---|---|
| －１ｋｇ | ２倍 | 正確 |
| ア　０ｋｇ | イ　１ｋｇ | ウ　４ｋｇ |
| イ　ウ | | |

＜数字の並び方の規則は？＞

① １　９　５　３　７　２　８　４　６
あいうえお順です（国語辞典に出てくる順番）

② ８　５　４　９　１　７　６　３　２
アルファベット順です（英和辞典に出てくる順番）

１～３は、字をうまく並び替えると、ちゃんとした言葉になります。

１．「ムカシムカシ　ウラシマハ　タスケタカメニ」　なので　　ｃ．ツレラレテ
２．BEAR　LION　CAT　なので　　　ａ．DOG
３．こころ　こうじん　ぼっちゃん　なので（夏目漱石の作品です）
　ｄ．　くさまくら
４．すべてのアルファベットをひとつ前のものにすると、
　５：MAY　６：JUNE　７：JULY　８：AUGUST
　３は、MARCH　→　ｂ．NBSDI
５．画数です。　　　　「五」は、４画なので、ｂ
６．その都市が面している湾です。　　神戸は大阪湾なので、ｂ